

<報道発表資料>

E-mail: a3710-10@pref.saitama.lg.jp

カテゴリー:お知らせ

令和6年1月19日

埼玉県四半期経営動向調査（令和5年10～12月期）の結果について

埼玉県では、県内中小企業2,200社を対象に四半期ごとに経営動向調査を実施しています。このほど、令和5年10～12月期（調査日：令和5年12月1日時点）の調査結果を取りまとめました。

今回は、景況感等に関する定例の調査に加えて、「取引先金融機関の貸出姿勢」、「外国人雇用」についても調査しました。

● 調査結果のポイント

- 県内中小企業の景況感
 「県内中小企業の景況感は、持ち直しの動きがみられる。」
 「先行きについては改善の動きがみられるものの、一部に不透明感がみられる。」
- 景況感DI*は、▲41.9と、前期比で1.1ポイント減少し、2期連続悪化した。
 * 調査対象企業に自社が属する業界の景況感を調査。「好況である」－「不況である」の企業割合。
- 製造業は2期ぶりに改善し、非製造業は3期ぶりに悪化した。
- 製造業では「パルプ・紙・紙加工品」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「金属製品」「輸送用機械器具」が悪化し、それ以外の7業種は改善した。
 非製造業では「運輸業」が改善し、それ以外の6業種は悪化した。
- 売上げDI、資金繰りDI及び採算DIは2期ぶりに改善し、設備投資実施率は2期ぶりに減少した。
- 1～3月期の先行きDIは、▲17.7と、5期ぶりに悪化した。

<景況感DIの推移>

	当期DI (R5.10-12)	前期比 (R5.7-9)	前年同期比 (R4.10-12)	来期見通しDI (R6.1-3の見通し)	前期比[前回調査] (R5.10-12の見通し)
全体	▲41.9	▲1.1	+3.1	▲17.7	▲6.5
製造業	▲44.6	+2.7	+0.2	▲18.2	▲10.0
非製造業	▲40.0	▲3.9	+5.2	▲17.3	▲3.8

- 取引先金融機関の貸出姿勢については、87.9%が「ほとんど変わらない」と回答しており、「厳しくなった」は9.3%で、前回調査より1.8ポイント減少した。
- 外国人雇用については、15.3%が「雇用している」と回答しており、「雇用していない（採用を検討している）」は8.0%、「雇用していない（採用予定なし）」は76.8%であった。

◆調査の概要◆

- ・調査方法：書面によるアンケート調査、業界団体及び個別企業へのヒアリング調査
- ・調査対象期間：令和5年10～12月期（調査日：令和5年12月1日時点）
- ・調査対象業種及び回答数

	対象業種	対象企業数	回答数	回答率
アンケート調査		企業	企業	%
	製造業	960	584	60.8
	非製造業	1,240	802	64.7
	計	2,200	1,386	63.0
ヒアリング調査		団体・企業		
	製造業	24		
	小売業	9		
	サービス業	1		
	情報サービス業	3		
	建設業	3		
	計	40		

調査結果については、以下のホームページアドレス（埼玉県四半期経営動向調査のページ）を御覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/doukou.html>